

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

<p>① 浅海 忠（市民の会・絆）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長3期目に向けて 2 三峰地域交通渋滞対策 3 市有財産の有効活用 	<p>⑤ 竹内 勝利（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市の有害鳥獣対策 2 荒川及びその支流の活用 	<p>⑨ 黒澤 秀之（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 秩父地域の有効求人倍率と雇用対策 2 市民満足度調査に基づく行政運営 3 西関東連絡道路の299号接続への対応 4 秩父市本町・中町まちづくり計画
<p>② 福井 貴代（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 胃がんリスク検診の導入 2 小中学校のトイレの洋式化 3 就学援助の増額と前倒し支給 4 手元に残せるプレミアム婚姻届 他 	<p>⑥ 大久保 進（公明党）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公共施設の洋式化 2 観光トイレの洋式化と新設 3 小中学校の勤務実態 	<p>⑩ 笠原 宏平（サンライズ秩父）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 花見の里の活用 2 ファシリティマネジメントの現在の状況 3 高齢者の交通手段
<p>③ 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国保広域化の第2次シミュレーション 2 介護保険等サービス利用助成金の申請 3 市内学校における「着衣水泳」指導 4 市県民税特別徴収通知書とマイナンバー 	<p>⑦ 金崎 昌之</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市長3期目の政治姿勢は 2 皆野秩父バイパスの終点地活性化 3 新庁舎再配置後の課題は 4 満足度調査を活かす取り組みを 	<p>⑪ 清野 和彦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の勤務実態・授業改善・教育相談 2 住んでよし訪れてよしの観光地域づくり 3 秩父市長等の給料・報酬等審議会
<p>④ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子育て支援 2 教育行政 3 介護保険 	<p>⑧ 赤岩 秀文（清流クラブ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 児童の交通安全対策 2 二瀬ダム左岸における地すべりの事象 	

※市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

久喜市政3期目に向けて 「日本一しあわせなまち」実現の具体的な政策は



市民の会・絆 浅海 忠
あさひみ ただし

問 広域水道の整備、県水道を目指す具体的な方策は。

答 国は老朽化対策に苦しむ市町村水道支援のため、県に統合計画を策定させる水道法改定を進めている。県水道化については、広域化の済んだブロックから進めるよう4町と連携して県に強く働きかけていく。

問 旧秩父セメント第一工場跡地への企業誘致は。

答 市民の雇用への期待も大きく、大きな雇用を生み出すよう主に製造業を想定し、早期に企業の立地が実現できるよう努める。

問 C R C構想の推進策は。

答 4月から開設している「移住相談センター」が中心に事業を推進し、主に豊島区民を対象としたお試し移住ツアーを開催予定。二地域居住や移住につなげたい。

市有財産の有効活用

問 旧秩父東高校、県との協議は。

答 土地については県と無償賃貸契約を締結し、契約期限が30年度末となっている。建物は、一部を除き耐震性が確保できておらず、電気・上下水道等が利用できない

状態で、一部を倉庫として使用している。今後の土地と建物の活用について、29年度以降、県と協議して方針を決定したい。

問 野坂二瀬住宅福祉女性会館エリアを駐車場にできないか。

答 面積の半分以上が借地である。駐車場としての活用も検討していきたい。



市役所駐車場

◎ 市役所駐車場を有料駐車場として活用できないか
◎ 三峰地域交通渋滞対策

一般質問

胃がんリスク検診の導入



公明党 福井 貴代

問 胃がんリスク検診は、血液検査で胃がんの原因であるピロリ菌の有無と、胃の萎縮度を測定し、リスクがある人を内視鏡検査につなげ、ピロリ菌除菌で胃がんの予防と早期発見を助けるものである。導入についての考えは。

答 導入のためには、検査だけでなく、結果の判定から除菌までの体制整備が必要。予算確保や実施方法など情報収集を行い医師会や郡内4町とも協議、情報交換してきた。今後、前向きに検討する。

● 小中学校のトイレの洋式化

問 小中学校のトイレの洋式化の現状と、洋式化100%に向けた今後の取り組みは。

答 小中学校合わせた洋式化率は、58・4%で県下16番目。改築や大規模改修工事を実施していない学校では26・2%である。今後、学校の新築・改築を実施の際は100%を目指す。また今年度より、2か年の予定で小中学校の長寿命化計画の策定に着手。この中でトイレの整備計画を具体的に検討していく。

● 就学援助の増額と前倒し支給

問 要保護者の新入学用品費増額と入学前支給について、国は要綱の改正により、30年度入学者から実施する。全額市の負担となるが、準要保護者にも同様の支援が必要である。市の対応は。

答 29年度より、国の基準を参考に増額し、小学校は4万6000円、中学校は4万7400円とした。入学前支給については、30年度入学児童から実施の方向で、現在、準備を進めている。



学校トイレの洋式化



国の就学支援で前倒し支給を伝える記事

市民生活の安心・安全をめざして



日本共産党秩父市議会議員団 齋藤 捷栄

● 国保広域化の第2回シミュレーション

問 標準保険税額はどう示された。秩父市の一人あたり保険税試算額は12万7736円で、増加率は176・79%と第1回よりさらに高く示されている。

答 県への納付金は減額、標準保険税額は増額されている矛盾は、27年度決算額が、国の基準による補正が加えられて修正されているために矛盾が発生した。

問 運営方針原案の内容は。

答 納付金や標準保険税の算定方法など、県・市の国保事務及び運営の基本指針原案が示されたが、いまだ原案の段階である。

● 介護保険等サービス利用料助成金の申請

問 高齢化が進む中、煩雑な利用料助成金の申請について申請主義から行政サービスへ切り替えは。

答 申請主義から脱却した行政サービスへの切り替えは、近隣市町の状況も調べながら前向きに調査、研究、検討していく。

● 市内学校での着衣水泳指導



着衣水泳指導 (西小学校)

● 市民税特別徴収通知書とマイナンバー

問 各地でマイナンバーが記載されている通知書の送付が問題となっているが、当市での対応は。

答 ナンバーの一部を伏字とした通知書を普通郵便で送付した。

問 着衣水泳指導の現状と課題は。

答 各学年を通じて発達段階に即した指導を行っているが、現状の年1回で充分とは思えない。更に研究を深めて指導内容の充実を図って行きたいと考えている。

一般質問

秩父市の教育行政

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 ちかみ

章恵 あきえ



● 教員の多忙化の現状

問 教員の多忙化が問題になっている。これ以上研修を増やして良いのか。

答 学校をとりまく課題が増大。多様化している中で、学び続ける質の向上を図る上で研修は非常に重要である。とはいえ、国・県・市で様々な研修が実施されており、それらを適切に見直し、その体系化を図っていきたくと考えている。

問 教員は業務が多く、遅い時間まで学校の明かりが消えない実態がある。学校の施設時刻の記録を調査し、実態把握をして欲しい。

答 各学校で出勤記録簿等により把握しているが、今学期中に出勤と退勤の時刻をICカードリーダーを使って記録できるシステムを導入する。

問 教員の多忙化のひとつに部活動指導があるのではないかと聞かされた。これはどうなのか。

答 中学校の部活動指導は、教員の超過勤務の要因の一つであることとは否定できない。各学校の実態に応じて、42名の方々に部活動外部指導者として指導いただいている。今後、国の検討も踏まえ、外部指導者の活用も図りながら、部

活動指導の充実と教員の負担軽減につなげていきたい。

教員の多忙化については、慢性的な超過勤務から健康を害し、職務に支障をきたすようなことは避けなければならぬ。教育委員会としても、教員の適切な勤務時間の把握に基づき、学校の業務改善を行い、多忙化解消・負担軽減に向けて取り組んでいく。

教員の業務内容の一例

- ・朝学習、朝の会、出欠確認
- ・授業、試験監督
- ・授業準備、指導案作成、教材研究
- ・進路指導・相談、給食・清掃指導
- ・質問や宿題への対応など学習指導
- ・試験問題作成、採点・評価
- ・修学旅行、体育祭など学校行事
- ・クラブ活動の指導、試合引率
- ・児童会や委員会活動の指導
- ・学級活動・ホームルーム
- ・初任者指導、校舎環境整備
- ・職員会議、学年会、教科会
- ・校内研修、勉強会・研究会
- ・保護者・PTA対応、家庭訪問
- ・資料作成、経費処理などの事務
- ・町内会・地域住民への対応

小学校の時間割の例

8:30-8:40	打ち合わせなど
8:45-9:30	1時間目
9:30-9:35	休み
9:35-10:20	2時間目
10:20-10:40	休み
10:40-11:25	3時間目
11:25-11:30	休み
11:30-12:15	4時間目
12:15-13:00	給食
13:00-13:20	掃除
13:20-13:45	昼休み・移動
13:45-14:30	5時間目
14:30-14:45	掃除
14:45-15:30	6時間目
会議・部活・授業準備など	

◎貧困世帯の子どもへの学習支援
◎介護保険

秩父の自然づくり

● 市の有害鳥獣対策

問 カワウ対策は。

答 カワウによる食害被害対策については、埼玉県が「埼玉県カワウ対策協議会」を設置し、広域的な視野で対策指針を策定していることから、市でも「鳥獣被害防止計画」の中で被害対策に取り組み、有効な防止対策として、カワウの捕獲を実施している。漁協からの被害発生の申告に基づき捕獲許可を出し、捕獲従事者に対しては国から補助金が交付されている。今後も課題を考慮しつつ、関係機関と効果的な対策に努めていく。

問 カラス対策は。

答 猟友会に委託している有害鳥獣捕獲業務の中で捕獲を実施しているが、カラスは県からの調査費等の交付金や補助金が無く、現状としては捕獲報奨金を支払うことは難しい。捕獲の実施は猟友会の理解と協力が必要不可欠なので、捕獲意欲の向上に繋がるよう努めていきたい。

● 荒川および支流の活用

問 鮎釣りの場所が狭められた原因および河川的环境整備は。

サンライズ秩父

竹内 たけし

勝利 かつとし



答 鮎釣りの場所が柳大橋近辺に狭まったのは、以前に比べ岩盤が露出し、天敵から身を隠す石等が少なくなり、生息に必要な藻の発生も少ないことが要因ではないかと考えられている。漁協によると今年度は柳大橋、武之鼻橋、秩父橋付近の3カ所に約1700キログラムを放流とのことである。市ではなるべく自然を残し、多くの植・生物が生息できるように環境にやさしい整備を進めていきたい。県の事業にも協力し、さらなる河川的环境整備に取り組んでいく。



カワウの捕獲研修会